



# お元気ですか 志村 たかよし です

第430号 2009年2月22日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

企画総務  
委員会で追及

## 「オリンピック招致活動」 石原都知事150億円のばらまき 中央区は「花」「清掃」「講演」等に2千万円



勝鬨橋歩道の車道側にフラワーポットを置くとのこと

### 都民の税金。他に使い道があるのでは？

「2016年のオリンピックは東京で」という世論は、なかなか盛り上がりません。

都は「7割が賛成」と発表しましたが、それはオリンピックの公式スポンサーであるヤフーに登録した利用者を対象にした調査（景品付き）という代物です。

世論低迷にあせる石原都知事は、150億円をばらまき、なりふり構わずオリンピック東京招致の世論を高めようとしています。

2月10日、企画総務委員会で、「中央区は2千万円を使い、招致活動を支援する3つの事業（ムーブメント）を実施する」との報告がありました。

### フラワーポット1千万

一つめは、「フラワームーブメント」です。

区は、オリンピック東京招致のための「効果的な演出」をはかるため、晴海通りの中央分離帯（下写真）や勝鬨橋の歩道上（上写真）に、オリンピック招致のロゴ入りプレートを取り付けた「フラワーポット」を250基配置し、花で飾られたオリンピックムーブメントを実施するとしています。

事業費用は、1000万円。

フラワーポットは、多摩産間伐材を活用するとしています。

私（志村）は、「オリンピック



花を置く晴海通りの中央分離帯＝勝鬨橋方向を撮影

招致活動が終わった後、フラワーポット（巾110cm、奥行き55cm、高さ55cm）をどう活用するのか「聞いたところ、「まだ考えていない」とのことでした。

区は「『緑を守る』という東京オリンピックがめざすテーマの一つと合致させていく」というので、招致活動が終われば廃棄すると言っていることは認められませんし、晴海通りの中央分離帯に設置されたフラワーポットへの水やりなど日常の手入れは、誰が危険を冒してやるのでしょうか。

裏面に続きます

# 勝どき橋 清掃に

3百万円

二つめは、「勝鬨橋を中心とした晴海通りの清掃活動を活用したムーブメント」です。

いま、地域の方たちが行っている清掃活動を、区が、沿道の町会や商店会、小学校などに呼びかけ、清掃活動の範囲を拡大して実施するつもりです。

「オリンピック東京招致」の揃いのタスキをかけて清掃活動を行うことにより「招致機運を盛り上げていく」と区は説明しています。



300万円かけて橋の清掃イベントをおこなうそうです

その事業費用は、300万円！

また、勝鬨橋のアーチにオリンピック招致の横断幕を、晴海通り沿いの月島第2小学校と「きらら中央」の区施設に懸垂幕を掲げ、オリンピック招致を区民に効果的にPRするつもりです。

## トークショーに

7百万円

3つめは、「日本橋着物絵巻ムーブメント」です。

3月28日に、マンダリンオリエンタル東京を会場として、オリンピックによるトークショーと、日本銀行本店前に着物姿の人々約7百人が集って、オリンピックとともに「オリンピック招致」の人文字を作るイベントを計画しています。

その事業費用は、700万円。

私は、「港区でオリンピックのトークショーを行ったとき、岩崎恭子さんは47万円、古田敦也氏は126万円かかったという。7

00万円もかかる内訳はどのようなものなのか」と質問しましたが、企画部長は「詳細は決まっていない」と明らかにしませんでした。

私は、「都から2千万円の事業費用が出ると言うが、それは都民の税金だ。石原都知事の150億円もかけた招致活動には批判の声が広がっている。区は、無駄遣いをやめるべき」と批判しました。

## 「反対」の声に

圧力

また、私は、2月8日の晴海連合町会の臨時役員会で区の出席者が「4月の100委員が視察に来るときは、むしろ旗を掲げるなどの反対運動をしないでほしいと発言したと聞いているが、本当なのか」と質問したところ、企画部長は否定できず、「(委員会と区)

まじめな席で、その時のやりとりを取り上げられても…」という答弁をしたので、私は「晴海町会連合会が、1月30日に区長に『要望

書』(左参照)を提出し、それに区がこたえて設定した公式の説明会で、反対の声を抑えるような発言をしたのは問題だ」ときびしく批判しました。

### 晴海連合町会の「要望書」の抜粋

中央区長 矢田美英様

…(略)…人口急増に加え、大規模なオリンピックスタジアムでのオリンピック・パラリンピックの開催、更にその後の当該施設利用により、東京湾大華火祭のような混雑・混乱が日常化することで住民生活は疲弊・破壊の一途をたどる…(略)。もし、このまま有効な対策が講じられずに糊塗的な措置だけで、住民の一方的な犠牲を強いる形で一連の事業が推進されることになれば、招致に賛成することは出来ないばかりか、私どもの生活防衛のためにあらゆる手段を必死に模索せざるを得ません…(略)…。

晴海連合町会 会長 沖 義康